

平成 2 2 年度
事業計画書

平成 22 年 3 月
財団法人 西日本産業衛生会

政府の平成22年度経済見通しは、米国発の金融経済混迷に揺れた昨年同時期の論調に較べ、やや明るさを取り戻しているとはいうものの、「緩やかな回復の見込み」との表現に留まっており、また同時にデフレ圧力の高まりや失業率の高止まりを示唆していることから、引き続き厳しい経済環境が続くものと予測せざるをえません。

特に当財団が拠点を有する北部九州地域は、自動車メーカー各社が牽引する産業集積により平成20年度半ばまで右肩上がりの雇用環境が続き、当財団の健診事業もそれに連れて拡大してまいりましたが、平成21年度については法定健診を中心とした受診者数の減少が現実のものとなり健診実施件数合計でも前年、前々年を下回る結果となる見込みです。

平成22年度事業計画策定にあたっては、外部環境に特段の改善要因は見当たらず、各企業の収益状況にも厳しさが継続し、また健保財政も同様に厳しい状況にあることを考えれば、当財団の主たる業務である健診事業においても大幅な受診者の増加は見込めませんし、また環境測定等への支出抑制が進められることも考慮せざるをえません。

しかしながら地域に根ざす労働衛生機関としての社会的使命を果たすため、厳しい環境下ではありますが、永年培ってきた基本軸を崩すことなく、「信頼」「協調」「貢献」の基本理念に基づき、勤労者並びに地域住民の皆様の健康づくりを事業目的として、その健康管理・環境管理の向上に尽力していく所存です。

平成22年度を迎えるにあたり、当該年度についても次の事項を引き続き基本方針として事業の遂行に努めてまいります。

・健診・環境測定・医療それぞれの分野において、最高水準の精度管理、品質維持・向上を目指す。

・地域住民・企業・各種団体の要望に応えられる労働衛生機関・医療機関として、職員のレベルアップとそれを支える財務体質の確立を目指す。

・コンプライアンスの徹底を行なうとともに、顧客満足度の向上を図り、信頼され選ばれる法人を目指す。

また、以下の具体的な施策を推進してまいります。

1. 調査研究

労働衛生機関として、地域によりよい健康管理サービスの提供を行う為、大学や研究機関・関係官公庁・各種団体との連携を図りながら、健康診断等の業務に関する調査や研究を進め、その成果を着実に改善に結びつけ、健診医療業務の充実に努めます。

2. 啓発活動

職域や地域への健診の普及と啓発について、次のような活動を行ってまいります。

メンタルヘルスの重要性が高まるなか、より高いレベルの業務内容を実現すべく平成21年度に新設した「保健企画部」を中心として、内部体制の確立を行い、企業の経営者や労働安全衛生管理部門等に心と身体両面の健康管理の重要性についての啓発活動に注力してまいります。

創刊以来146号を数える機関誌「メディック」の充実を図り、また当財団の特徴のひとつでもある最新鋭のがん検診システム、PET健診部門の広報誌「PETあんしん通信」等を通じて有用な健康情報を提供し健康管理への意識の高揚に努めます。

「年報」の充実についても中期的課題として取り組んでおり、健診の動向や有所見率の推移、事業場の労働環境の実態等を地域社会、及び各機関に情報発信してまいります。

3. 内部体制の整備

(1) 人材の育成

3年目を迎える特定健診・特定保健指導をはじめ多様化する要請に対応すべく、健診内容の充実、結果報告の迅速化、検査精度の向上、等業務の更なる改善を図るため、各種の研修会・講演会等へ職員を派遣して知識と技能の向上に努めます。

また、マニュアルの整備、業務の標準化、研修計画の立案・実施を行いながら職員のスキル向上に努めるとともに、積極的な人事交流、適正配置により人的資源の活性化に努め、働きがいのある職場づくりを目指します。

(2) 設備・医療機器の整備

信頼される医療機関・健診機関・環境測定機関として、スタッフの充実とともに機器の充実は不可欠であり、外部環境の厳しい中ですが当年度も計画的に機器の更新を図ります。特に巡回検診車について更新を進め、当該年度にはデジタル車両比率が50%を超える体制となる見込みです。

(3) 精度管理の向上・サービスの充実

当法人が所属する日本医師会・全国労働衛生団体連合会・日本総合健診医学会・中央労働災害防止協会・日本作業環境測定協会等が実施する精度管理向上のための各種学会・研究会・講習会へ積極的に参加して、更なる知識・技能の習得向上に努めます。

また全国労働衛生団体連合会の実施する労働衛生サービス機能評価についても日頃の研鑽を旨とし、翌年度に予定している評価更新をスムーズに行えるよう注力いたします。

4. 事業計画

(1) 産業医・保健師活動

財団本部に新設した「保健企画部」を中心に産業保健活動の充実を図ります。企業の労働安全衛生管理者や健康管理担当者と連携をとりながら、健康診断の事後フォローを的確に行いつつ契約事業所の維持・確保に努めます。また無暗な拡大を行うのではなく、顕在化しつつあるメンタルヘルスへの対応、長時間勤務者への面接、また特定保健指導についても適切に各事業所への情報提供を行い「質の向上」を目指してまいります。

(2) 健康診断

当法人の基幹事業のひとつであり、今年度も最重要事項として計画の遂行に取り組めます。景気低迷や雇用環境の停滞を勘案すれば、受診者の増加は限定的であろうと推察されますが、当法人としては、引き続き受診率の向上を目指しながら皆様に満足頂ける質の高いサービスを提供してまいります。

一般健診及び特殊健診

雇用環境の悪化から法定健診の全体的な受診件数減少が続いていますが、法的に義務付けられている基本的な健診である雇入れ時健康診断、定期健康診断及び特殊健康診断について地域に情報を発信しながら引き続き受診率向上に取り組めます。

協会けんぽ（旧「政府管掌」）健診

全国健康保険協会管掌保険（旧、政府管掌健康保険）の被保険者・扶養者を対象とする健診について平成19年度から、健診4施設全てで受診いただけるようになり着実に受診者数は増加しています。当財団施設間で協調しながら事業者の方々の利便性を高め、受診率向上に貢献いたします。

生活習慣病健診

一般健診と同様、雇用環境の悪化の影響は免れず受診者数の減少を見込んでいますが、生活習慣病健診の重要性の啓蒙を続けながら健診精度の向上また有効な指導への要請に応えるべく体制を整備してまいります。

特に、特定健診の開始により保険者に求められている受診率の向上には配偶者健診の充実が欠かせませんが、当財団では地域の健康保険組合の皆様とともに10数年に亘り独自の仕組みで主婦健診に取り組んでまいりました。そのノウハウを発展継承して地域の健康増進に努めつつ、新健診制度の確立にお役に立つよう尽力いたします。

人間ドックの充実

健診バスによる巡回健診に対し人間ドックは主として施設での外来健診となります。全施設がレントゲン設備のデジタル化を終えておりますが、更に設備・機器の更新に努め、ご契約頂いている各企業・団体・健康保険組合・共済組合様、それぞれのニーズに沿った高い精度の健診を提供できるよう努めてまいります。

P E T 健診

北九州エリア唯一の P E T 健診施設として P E T 健診センターを開設以来当年度で 7 年目を迎えますが、従来の検査では発見が難しかった早期の微小がんを高い精度で発見できる最先端技術の一つとして地域での認知度も高まり、医療機関様からのご依頼である保険診療を中心に受診者数は高い増加傾向を示しております。

医師・スタッフとともに 3 台の P E T / C T 機もフル稼働の状況で、平成 2 2 年度は大幅な受診者増を見込んでおりませんが、地域社会から「がん」を撲滅するために貢献すべく鋭意努力を継続いたします。

(3) 環境測定

職場の作業環境の健全性維持は、勤労者の健康保持に欠くことのできないものであり、関係機関・団体と連携を図りながら、職場環境の改善と維持に貢献できるよう取り組んでいきます。

平成 2 1 年度より北九州と大分に独立していた環境測定部門の一体運営を行っており、両施設の強みを活かしながら全国水準の精度を維持すべく、職員のスキルアップ、機器の拡充を計画的に進めてまいります。

また、当財団の環境測定部門は単に測定・分析業務にとどまらず、永年の業務遂行の過程でスキルを蓄積してきた労働衛生コンサルタントを複数擁しており、作業環境測定業務・健診業務・産業保健業務全般をご支援できるエキスパートとして地域社会への貢献を目指しております。

(4) 臨床検査

更なる検査精度の向上に努め、疾病の診断・治療・健康管理に有用な医療情報の提供に精励いたします。また国が推進する特定健診等に対応した臨床検査の標準化にも即応すべく、弛まぬ調査・研究を励行し、医療機関・健診機関が求める質の向上に応えます。

(5) 病院

医療制度改革により事業環境は引き続き厳しい状況にありますが、次の事項を重点に取り組みます。

治療・医療環境の一層の充実を図り、患者サービスの向上に努めます。
地域の求める病棟編成を構築し、その病棟の特性を生かした入院患者様の受け入れに取り組んでいきます。
地域医療連携室の充実を図り積極的な在宅支援や病診・病病連携により質の高い医療機関として地域に認められる病院を目指します。
病院機能評価の認定施設として、その評価に値する恒久的な病院運営に取り組んでいきます。
医療制度改革に伴う医療・介護保険における改訂の動きに即応して、今後の経営計画に着実に反映させられるよう取り組んでいきます。
医師、コメディカル、事務職員等全てのスタッフが同じ目的意識に立脚し、それぞれが誇りを持って患者サービスに寄与できる働きがいのある職場を目指します。

以 上

1.事業計画

区 分		平成21年度実績見込(注1)		平成22年度計画		備考
産業医・保健 師 活 動	事 業 場	567		570		
	保 健 指 導	800		1,000		指導人数
健 康 診 断	一 般 健 診	192,089	48%	198,030	49%	人員
	協会けんぽ(旧政管)健診	49,341	12%	49,950	12%	〃
	生活習慣病健診	55,951	14%	52,620	13%	〃
	ド ッ ク 健 診	22,205	6%	23,000	6%	〃
	P E T 健 診	5,277	1%	5,150	1%	〃
	付加健診(注)	(151,812)		(165,260)		件数
	特 定 健 診	9,018	2%	8,410	2%	人員
	再検査・二次検査	5,677	1%	6,420	2%	〃
	特 殊 健 診	57,042	14%	57,200	14%	〃
	外 来 診 療 (注)	(1,401)		(1,400)		〃
合 計		396,600	100%	400,780	100%	(注2) 延べ受診人員
環 境 測 定	作 業 環 境	5,529	29%	6,940	35%	件数
	煙 道 ガ ス	325	2%	350	2%	〃
	石 綿	2,459	13%	2,690	13%	〃
	そ の 他	10,756	56%	9,990	50%	〃
	合 計		19,069	100%	19,970	100%
臨 床 検 査		2,275,026		2,278,000		件数
病 院	入 院	105,710		106,215		延べ人員
	外 来	9,513		10,325		〃

(注1)：平成21年度実績見込は、平成22年1月迄の実績に基づき推計により算出。

(注2)：健康診断合計には、()内数値(付加健診及び外来診療)を除き、一般健診については有害業務従事者の重複健診、政管健診については付加健診・がん健診ほかの重複受診者を含む延べ人員を表示。

2.事業計画内訳

(1)産業医・保健師活動

項目	平成21年度実績見込	平成22年度計画	備考
産業医・保健師契約事業場	567	570	
特定保健指導	800	1,000	指導人数

(2)健康診断

区分	科目名	平成21年度実績見込	平成22年度計画	備考	
一般健診	定期A	73,791	81,860		
	定期B	69,572	68,590		
	定期C	36,128	37,770		
	雇入時健診	12,598	9,810		
	小計(一般健診)	192,089	198,030		
協会けんぽ(旧)	一般健診	42,569	43,090		
	付加健診	724	770		
	乳がん	2,213	2,240		
	子宮がん	3,434	3,460		
	その他(特定健診等を含む)	20	0		
	肝炎ウイルス検査	381	390		
	小計(協会けんぽ健診)	49,341	49,950		
生活習慣病健診	共済組合	8,614	8,610		
	指定健診	40,896	37,610		
	ヘルスチェックママ	6,441	6,400		
	小計(生活習慣病健診)	55,951	52,620		
ドック健診	日帰り人間ドック	19,175	20,270		
	日帰り人間ドック(配偶者)	1,662	1,680		
	一泊ドック	1,368	1,050		
	小計(ドック健診)	22,205	23,000		
PET健診	PET健診	5,277	5,150		
	小計(PET健診)	5,277	5,150		
付加検査	付加検査(オプション)	151,812	165,260		
	小計(付加検査)	151,812	165,260		
特定健診	特定健診	9,018	8,410		
	小計(特定健診)	9,018	8,410		
再検・二次検査	再検査	3,540	3,910		
	胃・十二指腸	118	150		
	大腸検査	11	20		
	腎機能	461	560		
	肝機能	235	280		
	耐糖検査	553	690		
	CT検査	219	240		
	その他二次検査	540	570		
		小計(再検・二次検査)	5,677	6,420	
	特殊健診	じん肺	8,661	9,420	
歯牙		2,094	1,950		
鉛		1,528	1,460		
有機溶剤		13,581	12,620		
コールタール		1,623	1,910		
紫赤外線		3,430	3,840		
騒音		8,175	8,050		
振動		1,842	2,040		
VDT		4,519	5,390		
石綿		3,316	3,190		
その他特殊		7,345	6,590		
特殊二次		413	210		
管理手帳		515	530		
	小計(特殊健診)	57,042	57,200		
外来	外来	1,401	1,400		
	小計(外来)	1,401	1,400		

(3)環境測定

科 目		平成21年度実績見込	平成22年度計画	備考
作業環境	粉 じ ん	1,622	2,290	
	特定化学物質	985	1,260	
	金 属	98	100	
	有 機 溶 剤	1,745	2,030	
	騒 音	610	750	
	照 度	11	10	
	事務所管理	21	20	
	局所排気定期点検	390	360	
	作業環境診断 そ の 他	1 46	50 70	
小 計	5,529	6,940		
煙道排ガス	煤 じ ん	128	130	
	硫黄酸化物	60	70	
	窒素酸化物	121	130	
	そ の 他	16	20	
小 計	325	350		
その他	排 水	885	470	
	飲 料 水	153	110	
	産業廃棄物	10	10	
	そ の 他	2,476	2,170	
	(特 検) 鉛	393	250	
	(特検)有機溶剤	6,839	6,980	
	石 綿	2,459	2,690	
小 計	13,215	12,680		
合 計	19,069	19,970		

(4)臨床検査

項 目	平成21年度実績見込	平成22年度計画	備考
血 清	265,160	266,000	
血 液	176,819	177,000	
生 化 学	1,810,306	1,812,000	
細 胞 診	22,741	23,000	
合 計	2,275,026	2,278,000	

(5)病院

項 目	平成21年度実績見込	平成22年度計画	備考
入 院	105,710	106,215	
外 来	9,513	10,325	
合 計	115,223	116,540	